

岡本キャンパス1年生 インターンシップ。

働く心構え学ぶ

飛騨高山高生が就業体験

高山市下阪本町の飛騨高山高校岡本キャンパスの1年生約180人が9、10の両日、同行内の約80事業所で就業体験をした。

同校では、働くことの厳しさや職業人としての心構えを学ぶための、毎年、生徒



展示会を取材する生徒＝高山市大高町、飛騨市坂地場産業振興センター

を対象に実施。生徒は飛騨地域の保育園や市役所、ホテル、スーバーなどを訪問した。

柴田晴貴さん(15)と長瀬由香里さん(16)は、岐阜新聞ひだ高山総局で研修。記者の仕事内容や新聞ができてくるまでの過程を学んだ上で、取材に同行。小学校の行事や展示会、ドッジボール大会などを取材し、写真撮影にも挑戦。実際に原稿作成も体験し、記者に添削してもらった。

研修を終えた柴田さんは「新聞をつくること」がとても大変だと分かった。記事を分かりやすくまとめるのは難しかった」、長瀬さんは「新聞記者は突然事件が起きれば、すぐに現場に向かわなくてはいけなくて働く大変さが分かった。多くの学びが得られた」と話した。

(玉田健太)